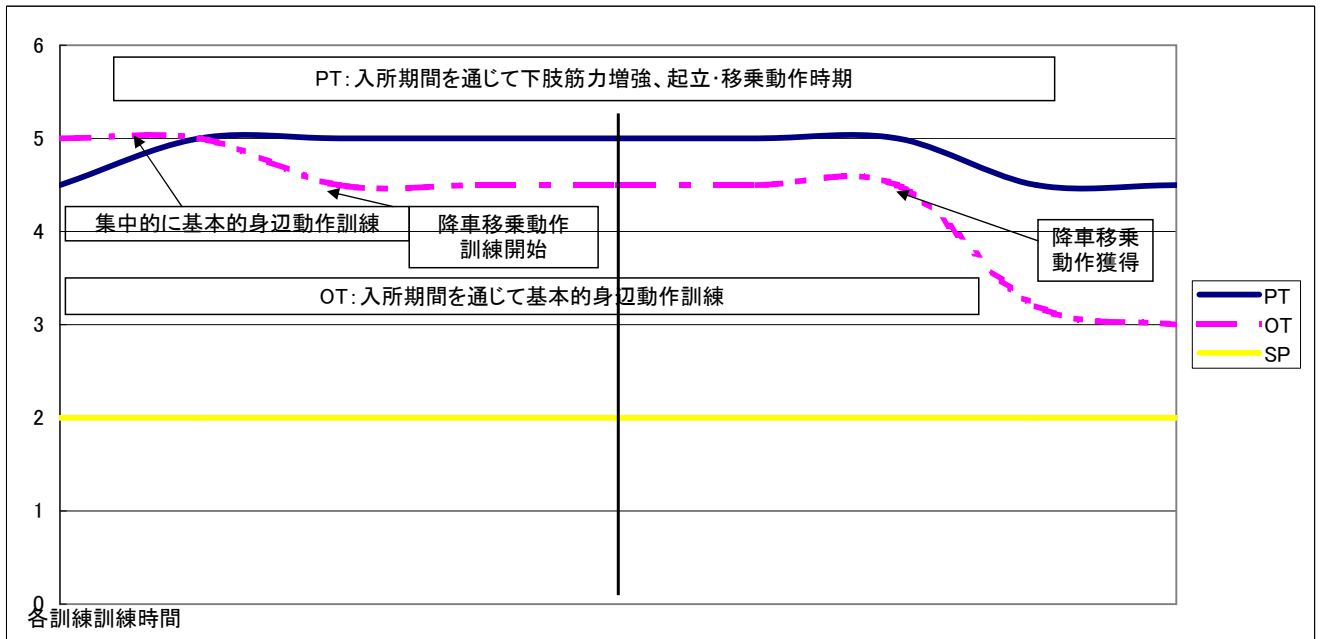


C6不全と診断された方の中、ご自分で立つことの出来ない方

診断(ASIA)	C6不全	Zaccolliの分類	-
		フランケルの分類	C
到達目標	C	最大限の条件設定を行えば一応自立は可能ですが、確実性にかける為遠監視は必要です。	
	D	最大限の設定をすれば最小限の介助で生活できます。	
	E	最大限の条件設定をしても、ある程度の介助量が必要になります。	
獲得可能動作	食事:	自助具を使用して可能となります。	
	車いす操作:	屋内平坦路では自操可能ですが、4度程度のスロープを登る事は可能です。屋外では、電動車いすが必要になる方もいます。	
	整容:	寄り付きの良い洗面台で自助具を使用して洗面や歯磨き動作が可能となります。	
	更衣:	手袋、上衣(かぶり)の着脱が可能となります。下衣も改良を行えば着脱の獲得可能性があります。	
	ベッドへの移乗:	上肢筋力、下肢筋力を利用し動作獲得の可能性があります。	
	排尿:	自己導尿の手技が可能となります。また、尿捨て動作が可能となります。	
	排便:	環境設定を行えば、移乗・座薬挿入など動作獲得の可能性があります。	
	入浴:	環境設定を行えば、移乗・一部洗体などの動作獲得の可能性があります。	
	起立:	臀部と膝を固定して立位保持が出来るようになります。わずかながら動く下肢の力を利用して移乗時の介護量の軽減を図る訓練を行いますが自立は困難です。	
自動車関連動作:	自動車への乗り込み、車いすの積み込みは困難です。運転については、一部可能になる方もいます。		

* 不全損傷の方の中には、肩の痛みやこわばりが強い方がいます。この様な場合、更衣や整容などの動作獲得の阻害因子となります。特にC6不全と診断された方は、獲得動作に大変大きな個人差が見られます。

利用契約から終了までの訓練進捗状況に応じた一週間の標準的な訓練時間



利用契約開始

訓練終了

※これらの時間や獲得動作は、目安であり、実際の時間や獲得動作には個人差があります。